Goods

復興グッズを越えた ものづくりへ。

モノクロ紙面でしかお届けできないのが残念だが、カラ フルな糸が施された美しいデザインが魅力のアクセサリー ブランド「OCICA」。漁網の糸と鹿の角をドリームキャッ チャーに見立て、1点ずつ手作りしている。2011年、東日 本大震災後に生活が急変した宮城県石巻市牡鹿半島の漁村 のお母さんたちの暮らしやコミュニティ再編を支援しよう とはじまったプロジェクトだったが、その可愛らしさで人 気に火が付いた。プロデュースは一般社団法人つむぎや、デ ザインは課題解決型デザイン事務所NOSIGNER。地域で 見慣れた素材に外からの視点が加わり、新たな魅力として

発信された好例だ。



売上の一部が作り手の 収益となる。アクセサリ 一以外にも鹿革をつかっ たペンケースなども。 http://www.ocica.jp/



Book

街の魅力は その街にある。

2020年の東京オリンピックに向け再燃する都市計画や建 物の議論。キラキラとした商業施設や高層マンション、消 費を促す町が果たして都市といえるのか――本書では、従来、 都市計画といえば、業務地、商業地、住宅地、工業地と4 つに分けて考えられてきたが、これからはそれが混在する ことで多様な人が集まり、結びつきを実感することが重要 になると説く。福井・浜町と東京・吉祥寺にて、隈研吾、馬 場正尊、倉方俊輔ほか審査員を迎えてコミュニティデザイ

ン大賞を開催した著者が、その 経験の記録を通して人間が居る 場所を考察する。街の魅力が増 せば「都心から○分」という不 動産広告は不要になるだろう。



「人間の居る場所」

三浦展著 而立書房(2016年)2,000円+税

Activity

課題の最前線で学ぶ 地域活性化とは。

少子高齢化や過疎化など課題山積の日本。この問題を解 決するのは他でもない私たち日本人だ。そんな人材を地方 で育成しようと2012年にはじまった「土佐山アカデミー」 では、高知市を流れる鏡川の源流域である土佐山地域を舞 台に、柚子や生姜などの地域資源を収穫し、その新たな活 用方法を考えるといったセミナーやツアーを年間通じて開 催している。新たに地域づくりを始めたい人向けの滞在拠 点「土佐山ワークスステイ」を通じて仲間の輪も広がって いる。持続可能な社会づくりのヒントは問題の現場、地方 にあるのかもしれない。

高知地域おこし未来 会議 キックオフ・ミ ーティング(2016年 8月)



土佐山アカデミー

高知県高知市土佐山桑尾1856-1 http://tosayamaacademy.org/

Technology

データを基に 地域の姿を描こう。

内閣官房まち・ひと・しごと創生本部が提供する地域経 済分析システム (RESAS: リーサス) は既存の統計データ 等を自治体ごとにまとめたもので、2016年11月に一般向 けのウェブサイトが公開された。このウェブサイトでは人 口、産業、消費、観光など7つのマップから253の可視化 された分析を参照することができる。客観的な情報は多様 なステークホルダーと共通理解を促してくれる。持続可能 な地域をつくるために、まずは地域で一緒に活動するメン バーとRESASを活用してみてはどうだろうか。そうする ことで未来にむけた行動を具体的に描くことができるだろ う。また、ウェブサイトにはRESASを使い近隣の自治体 との連携した施策を検討する事例も紹介されており、活用

の幅はこれから も広がりそうだ。



まち・ひと・しごと創生本部「RESAS」 https://resas.go.jp/#/13/13101